



MAC プールの設定

この章の内容は、次のとおりです。

- [MAC プール, 1 ページ](#)
- [MAC プールの作成, 2 ページ](#)
- [MAC プールの削除, 3 ページ](#)

MAC プール

MAC プールは、ネットワーク ID (MAC アドレス) の集合です。MAC アドレスはレイヤ 2 環境では一意で、サーバの vNIC に割り当てることができます。サービス プロファイルで MAC プールを使用する場合は、サービス プロファイルに関連付けられたサーバで使用できるように MAC アドレスを手動で設定する必要はありません。

マルチテナント機能を実装しているシステムでは、組織階層を使用して、この MAC プールが特定のアプリケーションまたはビジネス サービスでのみ使用できるようにすることができます。

Cisco UCS は名前解決ポリシーを使用してプールから MAC アドレスを割り当てます。

サーバに MAC アドレスを割り当てるには、vNIC ポリシーに MAC プールをインクルードする必要があります。その後、この vNIC ポリシーは、このサーバに割り当てられたサービス プロファイルに含められます。

独自の MAC アドレスを指定することも、シスコから提供された MAC アドレスのグループを使用することもできます。

MAC プールの作成

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---|---|
| ステップ 1 | UCS-A# scope org <i>org-name</i> | 指定した組織の設定モードを開始します。ルート組織モードを開始するには、/ を <i>org-name</i> として入力します。 |
| ステップ 2 | UCS-A /org # create mac-pool <i>mac-pool-name</i> | 指定された名前で作成し、組織 MAC プールモードを開始します。 この名前には、1 ~ 32 文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および . (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後で、この名前を変更することはできません。 |
| ステップ 3 | UCS-A /org/mac-pool # set descr <i>description</i> | (任意) MAC プールの説明を記入します。 (注) 説明にスペース、特殊文字、または句読点が含まれている場合は、説明を引用符で括弧する必要があります。引用符は、 show コマンド出力の説明フィールドには表示されません。 |
| ステップ 4 | UCS-A /org/mac-pool # set assignmentorder { default sequential } | 次のいずれかになります。 • default : Cisco UCS Manager はプールからランダムな ID を選択します。 • sequential : Cisco UCS Manager はプールから最も小さい使用可能 ID を選択します。 |
| ステップ 5 | UCS-A /org/mac-pool # create block <i>first-mac-addr</i> <i>last-mac-addr</i> | MAC アドレスブロック (範囲) を作成し、組織 MAC プールブロックモードを開始します。アドレス範囲内の最初と最後の MAC アドレスを <i>nn:nn:nn:nn:nn:nn</i> 形式を使用して指定する必要があります。アドレス間はスペースで区切ります。 (注) MAC プールには、複数の MAC アドレスブロックを含めることができます。複数の MAC アドレスブロックを作成するには、組織 MAC プールモードから複数の create block コマンドを入力します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|--------------------------|
| ステップ 6 | UCS-A /org/mac-pool # commit-buffer | トランザクションをシステム設定にコミットします。 |

次の例では、pool37 という名前の MAC プールを作成し、プールに説明を加え、ブロックの最初および最後の MAC アドレスを指定して MAC アドレス ブロックを定義し、トランザクションをコミットする方法を示します。

```
UCS-A# scope org /
UCS-A /org # create mac-pool pool37
UCS-A /org/mac-pool* # set descr "This is my MAC pool"
UCS-A /org/mac-pool* # create block 00:A0:D7:42:00:01 00:A0:D7:42:01:00
UCS-A /org/mac-pool/block* # commit-buffer
UCS-A /org/mac-pool/block #
```

次の作業

MAC プールを vNIC テンプレートに含めます。

MAC プールの削除

プールを削除した場合、Cisco UCS Manager は、でプールの vNIC または vHBA に割り当てられたアドレスを再割り当てしません。削除されたプールのすべての割り当て済みブロックは、次のいずれかが起きるまで、割り当てられた vNIC または vHBA に残ります。

- 関連付けられたサービス プロファイルが削除された場合。
- アドレスが割り当てられた vNIC または vHBA が削除された場合。
- vNIC または vHBA が異なるプールに割り当てられた場合。

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---|--|
| ステップ 1 | UCS-A# scope org org-name | 指定した組織の設定モードを開始します。ルート組織モードを開始するには、/ を <i>org-name</i> として入力します。 |
| ステップ 2 | UCS-A /org # delete mac-pool pool-name | 指定された MAC プールを削除します。 |
| ステップ 3 | UCS-A /org # commit-buffer | トランザクションをシステム設定にコミットします。 |

次に、pool4 という名前の MAC プールを削除し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope org /  
UCS-A /org # delete mac-pool pool4  
UCS-A /org* # commit-buffer  
UCS-A /org #
```